

5. 空港周辺整備の促進

空港と周辺地域との調和ある発展を図るため、学校、住宅等の防音工事、移転補償等を推進するとともに、地方公共団体と協力して緩衝緑地帯等の整備、周辺環境基盤の整備を促進し、適正な土地利用、街づくりを目指すための対策を行います。また、空港本体における取り組みと、これらの空港周辺環境整備の取り組みを通じて「エコエアポート」の推進に努めます。

<事業の概要>

平成20年度予算では、積極的に移転補償等事業及び緩衝緑地帯事業を推進し、空港周辺の適切な土地利用を図り、面的整備を促進します。

①住宅防音工事	19 (29) 億円
②移転補償	45 (58) 億円
③緩衝緑地帯等整備	26 (23) 億円
④教育施設等防音工事 等	13 (13) 億円
20年度予算額	103 (123) 億円
	※ () 内は前年度予算

【空港における周辺環境対策】



【空港本体における環境対策】

- ・ 工事実施時における環境配慮型重機・資材の使用、建設廃材の再資源化
- ・ ごみの減量化、リサイクル等の推進による循環型社会構築